

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立第五葛西小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和8年度の目標	70.0%	50.0%
令和7年度の目標	65.0%	45.0%
令和6年度の結果	63.6%	42.4%
令和5年度の結果	36.1%	44.5%

令和6年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第6学年	52.4%	45.2%
第5学年	46.5%	45.0%
第4学年	47.9%	42.8%
第3学年	51.9%	58.7%



目標達成に向けた取組

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上委員会を中心に、相互授業参観等の実践を行い、教員一人一人の向上を図る。 ・国語の授業実践を通して、確かな学力の育成につながる授業力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年年間30回程度の放課後補習教室を展開し、きめ細かな学習支援を推進する。 ・学習カルテ（第4、5学年）を活用し、苦手を把握し、ドリルパーク等で復習することで、基礎学力の定着を図る。 ・江戸川っ子study week!を実施、活用し、個別最適な学びの実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習習慣の定着を図るために、ドリルパークを全校で取り組む期間を設定する。 ・家庭学習の定着を図るために、全学年で計画的に家庭学習の課題を出す。 ・「学年×10分+10分」の時間を学年便り等で保護者に周知し、家庭への啓発を図る。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味関心を喚起することができるように、分かりやすい導入を行う授業改善を図る。L-Gateも参考にし、児童の苦手に関する原因も多様な視点から見ていく。 ・適切な評価をし、C・D層に対して、机間指導、声掛けなどを行い、自己肯定感を高める。 ・学びの質の向上を目指し、全学年での交換授業や教科担任制を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年年間30回程度の放課後補習教室を展開し、きめ細かな学習支援を推進する。 ・江戸川っ子study week!を実施、活用し、個別最適な学びの実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリルパークを家庭学習として、積極的に活用する。 ・自主学習を家庭学習として提示し、発達段階に応じて取り組む。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査「国語、算数の授業内容はよく分かりますか」「国語の授業で書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている」「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに注目している。」 <p>肯定的な回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベーシックドリルの診断テスト <p>正答率8割達成者 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学年×10分+10分の家庭学習ができている」 <p>肯定的な回答 80%以上</p>